

結城南中学校区新設校について

5月22日の議員全員協議会で、新設校の建設に係る設計から体育館を削除し、全体の概算予算から約7億4,100万円を削除したと報告がありました。そのような説明があったので、今後補正予算で対応してくると思いますが、結城市では、補正予算をどのように考えているのか伺います。

教育部長 本市における一般的な取扱いとしては、国・県の補正予算編成や

予備費利用に伴う新規又は追加の補助事業等を活用する場合、当初予算編成時に見込むことのできなかつた財政需要に対応する場合、事故や災害への対応が必要となった場合は、次年度予算での計上では事業の遂行が困難である場合等において、補正予算を調製し、議会の審議をお願いしている。

体育館を削除した予算の計上について伺います。

教育部長 体育館を中学校と共用することで、事業費の圧縮をするため設計変更作業を進めている。

今後は、設計変更の進捗と合わせ、保護者や地域の皆様等への説明会を開催し、様々なご意見をお伺いし、議員の皆様にも修正内容や削減した事業費、新たな起債返済計画案等をご説明させていただいた上で、適切な時期での予算計上を検討していく。

小学校体育館を建設しない場合の弊害について伺います。

教育部長 小学校と中学校に体育館が整備されていることは理想ではあるが、物価高騰が著しい昨今において持続可能な行財政運営のため、あらゆる条件を勘案し、中学校の体育館を共用することは、工事費の圧縮に大き

く貢献できるものと考えている。

県内では、大洗南小学校と大洗南中学校の体育館共用の事例があるほか、義務教育学校での事例は数多く報告されているので、新設校が目指す教育方針の実現や他の小学校との不均衡についても、問題はないと考えている。

体育館を削減するより
白紙に戻して考えるべき



大里 克友
(おおさと かつとも)

録画映像
はこちら

